

日本腹部放射線学会

第5回 CT コロノグラフィー・トレーニングコース (5th JSAR CTC-WS)

2014年6月29日(日) 9:00~14:00

秋田キャッスルホテル 4F 矢留の間

画像ワークステーションを用いたハンズオン形式による講義：定員 20人(10台)

参加費：¥5,000円(一律)

＜企画主旨＞

既にCTコロノグラフィー(CTC)は保険診療の適応となり、大腸画像診断法として急速に普及している。しかし診断を担うべき放射線科医は不足しており、我々のCTC診断法習得は益々重要かつ急務になっている。今回の企画では、画像ワークステーションを用いたハンズオン形式の講義により、症例を通して実践的なCTC診断の習得を目的とする。早期病変の知識から、前処置を含めたスクリーニング診断の理解を深めていただく予定である。

＜プログラム＞

司会：飯沼 元 (国立がん研究センター中央病院)

9:00-9:05 はじめに 森 宣 (大分大学)

9:05-9:35 CTCにおけるワークステーションの開発状況(2社)

①株式会社AZE (AZE VirtualPlace)

②アミン株式会社 (Ziostation2)

9:35-11:10 実機を用いたハンズオントレーニング①

CTC診断の基礎(進行癌から早期癌の病変所見の理解を深める)

トレーナー：三宅基隆(国立がん研究センター中央病院)

----- ランチョン準備(10分) -----

11:20-12:10 ランチョンセミナー (50分)

「CTCにおける大腸ガス拡張法の重要性」 (10分)

三宅 基隆(国立がん研究センター中央病院)

「外科医から見たCTCの有用性」 (40分)

松田圭二先生(帝京大学医学部附属病院)

共催 エーザイ/エーディア株式会社

----- 休憩(10分) -----

12:20-14:00 実機を用いたハンズオントレーニング②

スクリーニングCTC診断の実際

トレーナー：飯沼 元 (国立がん研究センター中央病院)

【主催】日本腹部放射線学会